

大掃除のポイント

早めに順序よく

3つのポイント



秋が過ぎると年末の大掃除が気になる時期になってきました。家中をびかびかにしたい気持ちはあるものの、何かと忙しい年の瀬。思うように進まなかったり、時間が足りなくなってしまうことがあるのではないのでしょうか。効率よく大掃除を進めるための基本と、どうしても時間がないときに押さえておきたいポイントなどをご紹介します。掃除の基本は「手順」にあり！大掃除を手早く、無駄なく行うためには、どこから始めるのがいいのでしょうか。まずは大掃除の手順についておさらいしていきましょう。

1. 不要なものは大掃除前に片付け

不要なものは、大掃除前に片付けを大掃除をする最中に、あれやこれやと要らないものが出てくることはよくあります。それとは別に、あらかじめ「これは処分したい!」と考えているものがあるならば、大掃除を本格的に開始する前に処分しておくことをおすすめします。不要物やゴミも増えすぎるとスペースをとって掃除の邪魔になります。年末は、粗大ゴミの回収スケジュールも普段と違うため、年の瀬が押し迫る前に計画的に処分を進めましょう。



2. 上から下へ

ホコリは上から下に落ちてくるものです。「今年は床を徹底的に掃除しよう!」とがんばっても、床掃除の後で、棚や照明器具の掃除をしたのでは、またホコリまみれになってしまいます。掃除する順番は、「高い位置から低い位置へ」が基本です。

3. 外から内へ

先ほどは縦の軸で掃除の手順(上→下)を説明しましたが、横の軸で考えた場合は、外から内に向かって掃除したほうが効率的です。掃除機や拭き掃除は、部屋の隅から始め、中央に向かって行いましょう。窓掃除も同様。「網戸→サッシ→窓枠→窓ガラス」と外側から掃除すると、いちばん汚れが目立つ窓ガラスがきれいに仕上がります。



大掃除は計画が命!

「今日はここをやるかな…」と思いつきで大掃除を始めると、すべてが中途半端に終わってしまう可能性があります。徹底的にやろうと思えば、いくらでも作業が発生するのが大掃除。しかし、年内中にできることは限られているのです。無計画に始めるのではなく、以下のことを決めておきましょう。

1. 掃除する場所を決める

大掃除できれいにしたい場所を、実際に書き出してみましょう。たとえば、「キッチン→冷蔵庫、レンジフード、シンク」「リビング→カーテン、AVボードの中」「お風呂場→天井、壁」など、普段は手が回らないけれど、この機会に掃除したいところを、具体的にわかりやすく書いておくとよいでしょう。終わったところからチェックしていくと、やり残しがなく達成感も感じられます。

2. スケジュールを立てる

1で書き出した掃除場所をもとに、それぞれの作業量を想定して、1日にできそうなことを配分しましょう。1日にあれもこれも…では、通常の家事に支障をきたしたり、身体に無理がかかったりするので、ゆとりを持って計画することが大事です。「今日はこれとこれだけ!」と決めたら、それ以上は手をつけないうららの余裕を持ちましょう。



3. 役割分担を決める

家族で大掃除の分担をすれば、さらに効率的です。家具の移動や粗大ゴミの廃棄など、ひとりでは対応が難しい力仕事もあるはずですが、当日になってから急に家族に頼んでも、都合がつかないかもしれません。あらかじめ「誰が、いつ、何をやるのか」を決めておくと、スムーズに大掃除が進められます。

防犯対策

安全と水はタダと言われ、高い治安水準を誇りにしてきた日本。しかし、残念ながら昨今、防犯が急増し、過去の安全神話は崩壊しつつあります。家族や住まいの安全を守るために、十分な防犯対策を講じておくことが重要です。



日頃からの注意

住まいの防犯には、狙われにくく、侵入されにくくする工夫が大切。戸建住宅の場合、泥棒は窓から侵入することが多く、まずは侵入経路を断つ事、そしてサッシやドア周りの対策が重要です。

● 暗闇をなくす、死角を作らない

- ・侵入盗は光を嫌います。外灯がない、または少ない場合には、人を感知して点灯する機能のセンサーライトなどを利用しましょう。
- ・周囲からの見通しを良くするために、そして侵入者が身を隠さないように、庭木の手入れも大切です。泥棒が隠れられる死角になる場所を作らないようにしましょう。
- ・見通しの悪い場所には防犯カメラを設置するのも効果的です。



● 足場をなくす

- ・2階からの侵入の足場になりやすい物置や室外機は家から離して設置しましょう。
- ・塀や柵も足がかりになりやすいので、見通しが良く、乗り越えにくく、なおかつ上方への足場にならないものにしましょう。
- ・生け垣には、トゲのある低木が効果的です。
- ・バルコニー下などにある移動可能なものは撤去し、死角にならない位置に移動させます。

● 窓に防犯設備を取り付ける

- ・窓ガラス用防犯フィルムを貼る、ガラスの破壊音に反応して大音響を発生するガラスセンサーを付ける、クレセント錠とできるだけ離れた位置に補助錠を付ける、鍵付きクレセント錠に変えるなどの防犯対策をお勧めします。
- ・掃き出し窓は特に狙われやすいので、雨戸かシャッターを設置しましょう。さらに雨戸錠を上下に付けます。
- ・バスルームやトイレなどに高窓には面格子を取り付けます。

● 在宅時でも無人の部屋の窓は鍵をかける

- ・1階のキッチン、浴室、トイレ、勝手口などは外からの視線も少ないので、必ず施錠しましょう。
- ・面格子を設置していても、外された場合を考えて窓の施錠は忘れずに行いましょう。



● 日頃から建物周囲を見直し、泥棒が侵入しにくい環境を整える

- ・外出時は雨戸、シャッターは閉めましょう。また、中が丸見えだと留守だと分かるのでカーテンを閉めておきます。
- ・帰宅が遅くなる日は洗濯物を室内に干しましょう。
- ・旅行等、長期間留守にする場合は近所に声を掛けたり、新聞を止めるなどの注意も必要です。
- ・設置した機器は必ず作動スイッチを入れておきましょう。
- ・通帳、印鑑、カードなどは別々に保管しましょう。
- ・合鍵を郵便受けの中や植木鉢の下に置くのはやめましょう。
- ・番犬を飼うと効果的です。
- ・玄関や浴室、トイレの窓周りに玉砂利を敷き、音が鳴るようにするのも効果的です。
- ・家を泥棒から守るには、「地域の目」も大切です。見かけない人物が行き来したり家の様子をうかがっていたら、ひと声かける、などを心がけましょう。簡単には家に近づけない環境が大切です。
- ・ホームセキュリティを採用することも検討しましょう。

